

キャリア教育実践事例

伊那市立東部中学校 松田徹

1 はじめに

「文部科学省中学校キャリア教育の手引き」によると、『キャリア教育は、子ども・若者がキャリアを形成していくために必要な能力や態度の育成を目標とする教育的働きかけである。そして、キャリアの形成にとって重要なのは、自らの力で生き方を選択していくことができるよう必要な能力や態度を身に付けることにある。したがって、キャリア教育は、子ども・若者一人一人のキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために必要な能力や態度を育てることを目指すものである。これらのことをふまえ、平成23年に中央教育審議会はキャリア教育を「一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して、キャリア発達を促す教育」と定義した。』とある。

また、『中学校は、「小学校における教育の基礎の上に、心身の発達に応じて、義務教育として行われる普通教育を施すこと」(学校教育法第45条)を目的としている。この時期は、自我の目覚めや、独立の欲求が高まるとともに、人間関係も広がり、社会の一員としての自分の役割や責任の自覚が芽生えてくる時期である。また、他者とかかわり、様々な葛藤や経験の中で、自らの人生や生き方への関心が高まり、自分の生き方を模索し、夢や理想を持つ時期である。一方で、高等学校入学者選抜をはじめとする現実的な進路の選択を迫られ、自分の意志と責任で決定しなければならない時期でもある。このように、中学校の段階はキャリア教育実践にとって極めて重要である。これを踏まえ、中学校段階では、社会における自らの役割や将来の生き方・働き方等についてしっかりと考えさせるとともに、目標を立てて計画的に取り組む態度の育成等について、体験を通じて理解を深めさせ、進路の選択・決定へと導くことが重要である。このため、各学校においては、キャリア教育の視点で、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動や日常生活におけるそれぞれの活動を体系的に位置付けることにより、能力や態度の効果的な育成を図ることが必要である。』とある。

これらを受けて、東部中学校では右のように1年生で食育、2年生で職場体験学習、3年生で進路学習を中心にキャリア学習を進めている。これまでは、コロナウイルスの影響で中止されていた活動も、今年度は感染対策を講じながら実施することが出来た活動がある。その中からいくつかを実践事例として報告します。

これらを受けて、東部中学校では右のように1年生で食育、2年生で職場体験学習、3年生で進路学習を中心にキャリア学習を進めている。これまでは、コロナウイルスの影響で中止されていた活動も、今年度は感染対策を講じながら実施することが出来た活動がある。その中からいくつかを実践事例として報告します。

令和4年度 伊那市立東部中学校 キャリア教育全体計画 案



2 実践報告

(1) 1年生

1年生は、食育としてクラスごとにテーマを決め、調べ学習を行った後、市内の食堂や飲食店、農家などを実際に訪れて、体験学習を行いました。その経験を模造紙にまとめたり、他の生徒に発表したりしました。



菓子庵石川のまとめ

1疑問に思っていたこと

- ①商品名の決め手は何か
- ②新商品はどのようにして作っているのか
- ③値段はどのように決めているのか

2わかったこと

- ①お客さんがわかりやすく、平仮名で書いてインパクトのある名前にしている。
- ②石川の作っているお菓子のコンセプトが「伊那谷を送る」で、商品が伊那の魅力が伝えられるように考えている。(伊那で採れたものを使うなど)
- ③商品に使っている物の原価の3倍から4倍の値段をつけてみる。他のお店と値段を比べて、商品につけた値段を調整する。



たくさんの賞を受賞していた

3感想

石川の作り手の思いや伊那の魅力が、お客さんたちに伝わる商品を考えていることがわかった。商品名にも平仮名で書くなど工夫をしてこだわっていることがわかった。
100年という間店が続いたのは、それだけ長くお客さんにまた買ってみたいと思ってもらえる商品をつくっているんだと思った。

総合 菓子庵石川 まとめ

1. 疑問に思っていたこと

- ①商品名の決め手は何か?
- ②定番のお菓子がちいづくきになったのはなぜか?
- ③1日に何個のお菓子が売れているのか?
- ④商品の値段はどのように決めているのか?

2. わかったこと

- ①お客さんが商品を見てパッとわかるようにしている。新商品ができたときはお客さんが「なんだろう。」と感じるような名前を考えている。
- ②1960年頃から売り始めた。その時代はチーズクッキーは珍しく石川の定番として売られていた。
- ③およそ2000個。(伊那市内の全店舗をあわせる)



そのため1日にお菓子を約2000個作っている。
④商品に使う材料(小麦粉、砂糖など)×2, 3倍を目安にしている。商品に合わせて高いものは安くしたり、安いものは高くしたり少しずつ変えながら値段を決めている。

3. 感想

石川の歴史や定番のお菓子がわかってよかった。普段食べているお菓子が丁寧に心を込めて作られていることが知れた。
ちいづくちいを買った。とても美味しかった。

(2) 2年生

2年生は、職場体験学習として市内を中心とする事業所へ2日間の体験を行いました。コロナの影響もあり、1日しか参加できない生徒や、2日間を異なる事業所で体験する生徒もいました。また、体験後は学んだことをまとめる活動を行いました。

<活動の様子とまとめ>



体験場所 ハナマルキ伊那工場

日時:令和4年5月30日～5月31日

◎内容

★工場説明 ★味噌づくり体験
★～味噌ができるまで～1課工場見学、2課工場見学 ★塩麹製造
見学

★軽作業(シール貼り、箱運び、機械にバックをセットする)

★やってみて学んだこと

軽作業は結構疲れましたが、楽しく楽しかったし、こんなにも貴重で普段は見えないところをたくさん見れて大変良い思い出にもなりました。また、行く前まではハナマルキまで味噌までよくつくり方などがわからなかったけど、この体験でハナマルキについてまた、味噌についてもよく理解出来たので良かったです。内容として、まず見学では、味噌が出来上がるまでの過程を見て、1課という場所は主に仕込みをしていて、そこで味噌の原料について学びました。「大豆・米麹・塩」この3つが主な原料です。また、煮た大豆をミンチしているところは壮絶でした。2課では、発酵から出荷までの広い範囲をやっています。発酵は1次、2次発酵があり、発酵する味噌は5トンものタンクで発酵します。ある程度の期間が過ぎたら冷ますのですが、空気が表面から入って中に入っていくので表面ははやく発酵が終わり、中は結構経ってから終わり、そのことによって味も色も変化してしまうということも学びました。

※味噌食べ比べ

- 1.お父さん味噌・・・普通に美味しく、結構しょっぱかったな～
- 2.米麹多め味噌・・・1よりも塩気がなく、柔らかくて食べやすくなった!
- 3.麦麹多め味噌・・・他の味噌と比べて甘かったな～

軽作業

主にシール貼り、箱運び、シートをかぶせる作業をやりました。最初は頑張らなきゃと結構緊張していたけど、やっていくうちに、コミュニケーションをとれて、工場の方とも、自然と会話したりするなどこういう作業だけでも、コミュニケーションがとれたり、終わった後の達成感がすごかったりと、人間性なども成長できることがよくわかりました。また、教えてくださった方のアドバイスがすごい良かったおかげでスムーズに、無事成功したので嬉しかったです。

▽体験してみても

味噌について、普段何気なく食べていたけど、この体験を通して、味噌を作るということはじかかんもかかるし、手間もかかるけど、このハナマルキの皆さんはそんな中でも消費者のニーズに応えようとする姿はカッコよかったし、情熱を持って、心を込めてやっていて、普段自分達は、こういう心のこもって作られた味噌を食べているということがわかったし、もっと感謝していただかなきゃ～とも思いました。

また、何事も情熱を持ってやる、心を込めてやることをこれからの生活に活かしていきたいです。これは、自分にとって全然足りないことなので頑張って生活していきたいです!!

<生徒の感想>

- ・今日は、職場体験明けでした。みんなの職場の話聞いて、“そんな仕事もあるんだな”と思うことも沢山ありました。また、自分の職場では保育系のこともでき、とても楽しかったです。職場の方に感謝したいです。
- ・今日は職場体験1日目でした。私は老人ホームに行きました。朝は、不安でいっぱいだったけど、職員の皆さんが、明るく温かく迎えてくれて、少し緊張もほぐれました。(中略)挨拶や笑顔、語先後礼、大きな声など、意識しながら体験できました。最後の方は、みんなクタクタでした。今日は早く寝て、明日も頑張ります!
- ・職場体験の次の日だからとても疲れた。毎日あれより忙しい仕事をやってるなんて、メンタルズタボロになっちゃうけど、2日だけで楽しみながら社会のルールを学べた気がする。



工場内はまるで迷路!?

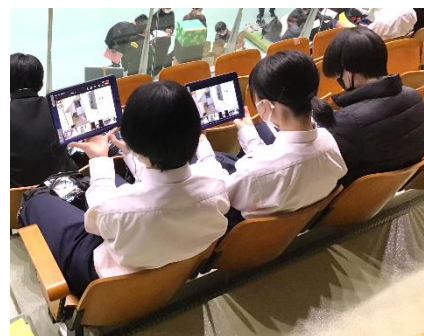
味噌の作りが工場内全部にわたっているらしい

地域との触れ合い・・・みそ作り教室というものをやっていて、ハナマルキでは春休み・夏休みの期間に合わせて、小学生の親子を対象にみそ作り教室を開催しています。



伊那市中学生キャリアフェス 2022 が、テーマとして「はじめの一步 ~無限大の自分へ~ 」と題し、市内 6 中学校の 2 年生と伊那養護学校中学部の生徒をオンラインでつなぎ、11月10日に伊那市ロジテックアリーナで行われました。「地域で子どもを育てよう」~子どもは地域の宝・地域の未来~という伊那市キャリア教育憲章の理念の下、市内の中学生が地域を知り、地域の人とふれあい、地域の未来を考えるきっかけとなる 1 日を作ることを目的として、伊那市内にある 80 余りの企業が出店し、会社説明を聞いたり体験したりしました。生徒は約 20 分間で 1 ブースを回る中で、その企業の仕事内容だけではなく、自分たちにどのようなつながりがあるかを知ることができました。企業の方から誘ってもらったり、生徒の方から職場体験でお世話になった企業のブースにあいさつに行ったり、様々な出ないに企業の方々との会話も弾んでいました。

<活動の様子>



キャリアフェスでは、大人の実行委員だけではなく、オープニングとクロージングの企画・進行を中学生実行委員が任されています。他校の生徒実行委員と共に、準備を進めました。

<生徒の感想>

今日は、待ちに待ったキャリアフェスでした！コロナの影響で来れない人もいましたが、1日楽しく過ごせました。ずっと前から色々な人が準備してくれていた行事だったので、成功して良かったと思いました。将来、ブースを開く側にもなりたいと思いました。

キャリアフェスに参加しました。たくさんの伊那市の企業がブースを出していて、地域のためにどんな活動をしているのかマジメに話を聞くブースもあれば、体験させてくれる楽しいブースもありました。僕が回った中で印象に残ったのは「かんでんぱぱ」の総務の方の話で、これと決まった仕事をするのではなく、いろいろな仕事をして会社を支えていることを知り、そういう仕事も楽しそうだと思いました。

(3) 3年生

3年生では進路学習として、高校調べや高校の先生による進路講話、自分の苦手な教科を洗い出し、受験勉強へと役立てる〇〇名人プロジェクトなどを行いました。

高校調べでは、1週間の授業数や部活動、主な学校行事などに加え、自分が受験することを想定して、入試に関わる情報も一緒に調べました。その中で、高校の教育理念や募集する生徒像などを知り、よりその高校への思いを新たにする生徒が多く、また、より学習を頑張らなければならないと感じた生徒もおり、次の〇〇名人プロジェクトへつなげるきっかけとなりました。

〇〇名人になるプロジェクト①

〇〇名人になるプロジェクト

～苦手を見つめ そこに挑む！～

3年 4組 氏名 []

☆5教科(国・社・数・理・英)を自分が苦手な教科の順に並びかえよう。

	1番目に苦手 (最も苦手)	2番目に苦手	3番目に苦手	4番目に苦手	5番目に苦手 (1番得意)
教科名	英語	数学	社会	国語	理科
苦手な理由	・文法単語は読めるけど、聞くのスピードが速い ・文法が理解できない	・基本的計算が得意じゃない ・証明が難しい	・世界史がよくなる ・世界地理がよくなる	・漢字の読み間違い	・化学と物理は理解するの時間がかかる ・水素

☆1番目、2番目に苦手な教科に焦点を当てて考えます。

自分が見つまっているところ(単元)がどこのか、教科書などを見ながら見つけ出そう。

教科名	1番目に苦手	2番目に苦手
特に苦手としている部分(単元)	英語 ・受身 ・前置詞 ・不定詞 ・動名詞	数学 ・証明 ・一次関数の利用 ・方程式とグラフ、連立方程式とグラフ ・連立の利用
どのように学習を進めていけばいいかアドバイスをお願いします	・単語から覚える ・1週間1回単語を復習する ・1日5分ずつやる ・長文を読めるように読解力を付ける ・文法はやり直したい	・ワークやる ・練習問題 ・くり返しやる ・復習する

私は 長文・単語 名人を目指します!
一次関数と連立の利用

☆〇〇名人になるために、継続できる計画を立てよう!

	長文・単語 名人になるために	数学 名人になるために
何曜日	毎日	毎日
何時から何時	30分くらい	30分くらい
どのくらい	7-72ページくらい	1-11ページ以上
	取り組みます!	取り組みます!

〇〇名人になるプロジェクト①

〇〇名人になるプロジェクト

～苦手を見つめ そこに挑む！～

3年 4組 氏名 []

☆5教科(国・社・数・理・英)を自分が苦手な教科の順に並びかえよう。

	1番目に苦手 (最も苦手)	2番目に苦手	3番目に苦手	4番目に苦手	5番目に苦手 (1番得意)
教科名	英語	数学	理科	社会	国語
苦手な理由	日本語の勉強が苦手 ・文法がわからない ・単語が覚えられない	公式とかの意味がわからない ・計算が苦手	実験や100%の答えがわからない ・グラフが苦手	歴史の人物がわからない ・年代がわからない	漢字が難しい

☆1番目、2番目に苦手な教科に焦点を当てて考えます。

自分が見つまっているところ(単元)がどこのか、教科書などを見ながら見つけ出そう。

教科名	1番目に苦手	2番目に苦手
特に苦手としている部分(単元)	英語 ・カタカナ語、命令文 ・動詞の活用、前置詞、名詞	数学 ・証明、図形、連立方程式 ・一次関数、空間図形
どのように学習を進めていけばいいかアドバイスをお願いします	・単語を覚える ・英語に慣れるまで毎日やる ・5分やる ・1週間1回単語を復習する ・1週間1回単語を復習する	・公式覚える ・くり返しやる

私は 単語、計算 名人を目指します!

☆〇〇名人になるために、継続できる計画を立てよう!

	英語 名人になるために	数学 名人になるために
何曜日	毎日	毎日
何時から何時	5~30分	5~30分
どのくらい	英語を	計算
	取り組みます!	取り組みます!

〇〇名人になるプロジェクト①

〇〇名人になるプロジェクト

～苦手を見つめ そこに挑む！～

3年 4組 氏名 []

☆5教科(国・社・数・理・英)を自分が苦手な教科の順に並びかえよう。

	1番目に苦手 (最も苦手)	2番目に苦手	3番目に苦手	4番目に苦手	5番目に苦手 (1番得意)
教科名	英語	社会	数学	理科	国語
苦手な理由	単語が覚えられない ・文法の理解が難しい	歴史の人物の名前、出来事 ・年代がわからない	証明が難しい ・分数	100%の答えがわからない ・単位	作者や登場人物の心情がわからない ・場面場面がわからない

☆1番目、2番目に苦手な教科に焦点を当てて考えます。

自分が見つまっているところ(単元)がどこのか、教科書などを見ながら見つけ出そう。

教科名	1番目に苦手	2番目に苦手
特に苦手としている部分(単元)	英語 ・前置詞 ・スペルの暗記 ・長文読解	社会 ・歴史の人物の名前、出来事 ・地理の資料の読み取り
どのように学習を進めていけばいいかアドバイスをお願いします	単語のメモをつける 長文を読めるように読解力を付ける 毎日100%の答えが出るようにやる	ワークを1つずつやる くり返し練習する

私は 長文読解 名人を目指します!

☆〇〇名人になるために、継続できる計画を立てよう!

	長文読解 名人になるために	歴史 名人になるために
何曜日	毎日	2日/1回
何時から何時	毎日、10分	7-72ページ
どのくらい	単語を覚える 3月10日 100%の長文読解をして、自分の苦手な単元をやる	歴史の人物を詳しく深く知る くり返しワークをやる
	取り組みます!	取り組みます!

進路講話の様子



<生徒の感想>

校長先生の進路講話を聞いて、伊那西高等学校は、すてきなところだな、と思いました。勉強はもちろんだけど、行事や生徒会活動などにも一所懸命頑張る姿を応援してくれたり、進路希望にあわせた進路別講座があって、私は将来の自分がまだハッキリ思い浮かばないので、とても魅力的に感じて勉強を頑張りたいなと思いました。

伊那弥生ヶ丘高等学校は「自主自律」で感じた事は、自分がやったことは責任をもち、最後までやりきることが大切だと思いました。責任をもってやらないとちゃんと最後までやる人は少ないと思います。責任をもたず行くと、例えばミスがあっても「自分は悪くない」などとなってしまいます。そんなことがないように、伊那弥生ヶ丘高等学校では「自主自律」をつくったのかなと思いました。自分も「自主自律」を大切にしたいと思います。

「最大の敵はあきらめ」というお話が非常に心に残っていて、その敵に立ち向かうためにもサポートがすごく手厚いなと思った。受験するのは自分自身だし、諦めるのも自分次第だけど、諦める選択をさせないようなサポートや自分対複数の先生方という形が理想的でいいなと思った。他校と比べて、大学受験への階段っていうイメージが強い学校だなと思った。

僕はあいさつ、清掃などの普段のことを重点的にやっているのはいいことだと思いました。まずは当たり前のことを当たり前にしていくことが大切だとわかってとてもよかったです。

部活が充実しているし、文化祭がすごく楽しそうだったので良いと思いました。「文武両道」で部活もしっかりやって勉強もしっかりやる、どちらも両立させるということを掲げているのは、より充実した高校生活を送るためにとても良いことだなと思いました。

伊那西高校では、生徒の将来についてのサポートに特に力を入れていることが分かりました。私はまだ夢がなく、自分の将来がとても不安です。そんな私でも自分の将来についてのヒントを見つけていくことができそうだなと思いました。また中学の勉強や生活面でちゃんとしておくべきだということも分かりました。今のうちから色々な面でがんばろうと思いました。

3 おわりに

これまでコロナを理由に中止が続いてきた活動を行うにあたって、感染対策など十分な準備をしても、多くの生徒たちは不安を感じていました。そんな中、生徒たちによって満足のいく活動になるのか、実りある活動になるのかといった不安はありました。しかし、実際に活動を行ってみると、生徒たちの目は輝き、生き生きと活動する姿がありました。感想を見ても、実際に体験して、働く人の大変さなどが分かった。将来のことを考えるきっかけとなった。とても楽しみながら学ぶことができた。など、実際に体験することで得られるものは大きいということを改めて感じさせられました。キャリア教育の考えの中にある「体験を通じて理解を深めさせ」の部分に通じるものがありました。

とは言え、キャリア教育がどのようなものを指すのかを、しっかりと理解している生徒は少ないとも感じます。キャリア＝働くことはあくまで一部であり、自分自身の生き方そのものである、というより大きなものであることを理解させた上で活動に取り組み、これまで以上に生徒たちにとって実りある活動にしていきたいと思えます。